

8月21日（木）に長野市で開催された

「全国専修学校各種学校総連合会 第55回北関東信越ブロック大会」に
本県会員校の皆さんが参加しました。

毎年持ち回りで開催されているブロック大会が、幹事県の長野県専修学
校各種学校連合会（長野県専各連）の運営により、全国専修学校各種学校
総連合会（全専各連）をはじめ茨城・栃木・群馬・長野・新潟の5県の教



ブロック県関係者や来賓が登壇して行われた全体会

職員が参加し、来賓に国や各県
担当者をお迎えして、長野市内
の長野県県民文化会館（ホクト
文化ホール）で約220名が参
加して盛大に開催されました。

栃木県専修学校各種学校連合会
（栃木県専各連）からは、石川理事
長をはじめ会員校7校21名の教職
員の皆さんに参加いただきました。



栃木県から参加された会員校の皆様

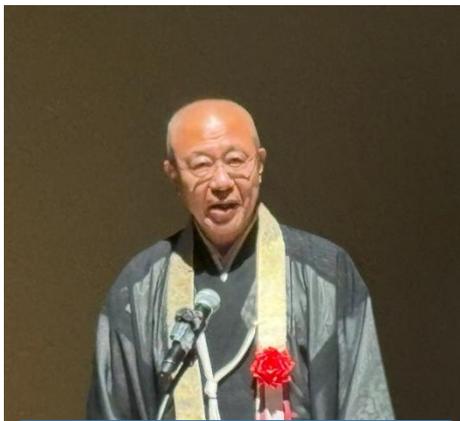
大会のセレモニーである全体会では、長野県専各連の山岸健文会長や北
関東信越ブロック会長の茨城県専各連の八文字典昭会長、全専各連の多
（おおの）忠貴会長の挨拶に立ちました。その後、去る7月4日に東京都
内で開催された「専修学校制度制定50周年記念式典」において発表され

た5県の「全専各連会長表彰」の受賞者に対して、多会長から各県代表者への賞状の授与が行われました。本県の受賞者34名の中から石川理事長



が代表して受領しました。その後は、来賓の関昇一郎長野県副知事や、荻原健司長野市長からご祝辞をいただきました。

専修学校制度制定50周年を記念して、全専各連会長表彰を受賞した各県の代表者（右端は、本県の石川理事長）
本県受賞者の皆様には、事務局から後日表彰状を学校ごとにお届けしました。
受賞者の皆様、誠におめでとうございます。



講師の善光寺
若麻績亨則寺務総長

次の研修会では、地元善光寺の若麻績亨則寺務総長氏から「AI時代を心豊かに生きる」と題した基調講演があり、その後文部科学省と全専各連、そしてブロック5県の行政職員から現状の報告がありました。栃木県からは文書学事課の横井美咲主事が、①専修・各種学校の状況、②中高生卒業後の進路状況、③県

からの助成状況について説明しました。



報告する横井主事

次の全体会議では、別添の大会決議を読み上げて拍手で承認された後、来年度の大会開催地を栃木県とする提案があり、本県の石川理事長が受諾の挨拶を行い、大会は盛会のうちに無事閉会となりました。



来年度開催県として歓迎の挨拶をする石川理事長

なお、前年度の新潟県大会では、大会後に懇談会を開催したことを受けて、長野県でも懇談会が開催されました。参加者は、ホクト文化ホールから徒歩10分程度の長野駅前のホテルメトロポリタン長野に移動して、参加者108名（うち本県参加者5名）が時間の許す限り交流と懇親を深めることができました。



ホテルメトロポリタン長野に移動して開催された懇談会

来年のブロック大会は、栃木県での開催になります。本年5月の定時総会でも審議・決議されましたとおり、令和8年8月27日（木）の午前に当連合会の「法人化60周年記念式典」を行い、午後には、第56回北関東信越ブロック大会を開催する予定で準備を進めております。一日がかりの開催となりますが、会員校の皆様には、スタッフや参加者としてご支援・ご協力をいただくことになると思いますので、よろしく願いいたします。

大会決議

現在、我が国では少子化が急速に進行し、教育現場はかつてない変革の時を迎えている。

また、AIの進展により社会や産業の構造が大きく変わる中、職業教育には知識や技術だけでなく、変化に柔軟に対応できる人間力の育成が求められている。

私たち専修学校各種学校では、実践的な学びを通じて豊かな心を育む教育を推進するとともに、社会人の学び直しや留学生への支援など、今日的な課題に対応し社会に貢献できる人材を育成していくことが急務である。

専修学校制度制定から50年という大きな節目を迎えた今、私たちは、専修学校各種学校における職業教育の使命を再確認し、AI時代にふさわしい教育の革新と人間性豊かな人材の育成を進め、その社会的責務を果たしていくことをここに決議するとともに、それを支援するため下記事項を関係機関に強く要望する。

記

- 1 時代の要請に応じた職業教育を展開し、地域や産業界に有意な人材を輩出している専修学校各種学校の振興を図るため、公的助成の拡大及び職業実践専門課程への一層の支援を行うこと。
- 2 多様な生徒の受け入れを行っている後期中等教育機関としての高等専修学校の重要性を深く理解し、各都道府県における高等学校との格差を是正すること。
- 3 意欲ある子どもたちの進学を支援するため、高等教育の修学支援新制度における所得要件を緩和するなど、制度の一層の充実を図ること。
- 4 職業能力開発施設と専修学校各種学校との競合を回避し、役割分担を明確にすることで、その徹底を図ること。
- 5 外国人留学生の受け入れをより一層容易に行えるよう国として支援するとともに、産官学が連携して留学生が働きながら学び、卒業後に身につけた技能を生かせる環境を整備すること。
- 6 社会人に学び直しの機会を提供するリカレント教育の充実を図るとともに、知識や技術をアップデートするためのリスキリング実践モデルの開発を支援すること。

以上のとおり本大会において決議する。

令和7年8月21日

全国専修学校各種学校総連合会
第55回北関東信越ブロック大会